



図3. (上図) GNSS データ (国土地理院 GEONET F3 解) による, 三隅を基準点としてトレンドおよびアンテナ交換によるオフセットを除去した, 2015 年 10 月 24 日までの白浜 (赤×印), 阿南 2 (青×印) の東方向の変位 (上が東方向). 白浜および阿南 2 の各 GEONET 点の位置は, 下図内の地図にそれぞれ赤四角, 青四角で示した.

(下図) 和歌山県の紀伊水道側 (赤線) 及び徳島県の紀伊水道側 (青線) 領域における微動活動の積算個数 (2001 年 1 月～2015 年 11 月 10 日). 図内の地図に, 和歌山側, 徳島側の領域に対応する微動分布をそれぞれ赤丸, 青丸で示した. 灰丸は, 上記以外の領域の微動分布を示す. これらの領域では 2011 年頃から活動が低調であったが, 2014 年半ば頃より微動活動が活発化している傾向がみられる. また GNSS データからは同時期に変位があったことが示唆され, 長期的 SSE の可能性が指摘されている (気象庁・気象研, 2015).